

相生市立矢野川中学校の在り方検討に係る
アンケート調査結果報告書

矢野川中学校区地域協議会

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、地域協議会において矢野川中学校の在り方の協議・検討を進めるにあたり参考とするため、矢野川中学校区内の保護者に対して、ご意見等をうかがうことを目的に実施しました。

2 調査の項目

- (1) 自身のことについて
- (2) 通学時間と通学方法について
- (3) 中学校の学校規模について
- (4) 中学校の再編について
- (5) その他自由意見

3 調査の設計

(1) 調査対象者

- ア 矢野川中学校生徒の保護者
- イ 若狭野小学校児童の保護者
- ウ 矢野小学校児童の保護者
- エ 矢野川中学校区就学前児童の保護者

(2) 調査方法

無記名による直接記入

(3) 調査期間

令和7年5月

4 回収結果

	対象者（配付数）	回収数	回収率(%)
矢野川中学校生徒の保護者	53（44）	41	93.2
若狭野小学校児童の保護者	38（18）	17	94.4
矢野小学校児童の保護者	33（21）	18	85.7
就学前児童の保護者	47（17）	9	52.9
合 計	171（100）	85	85.0

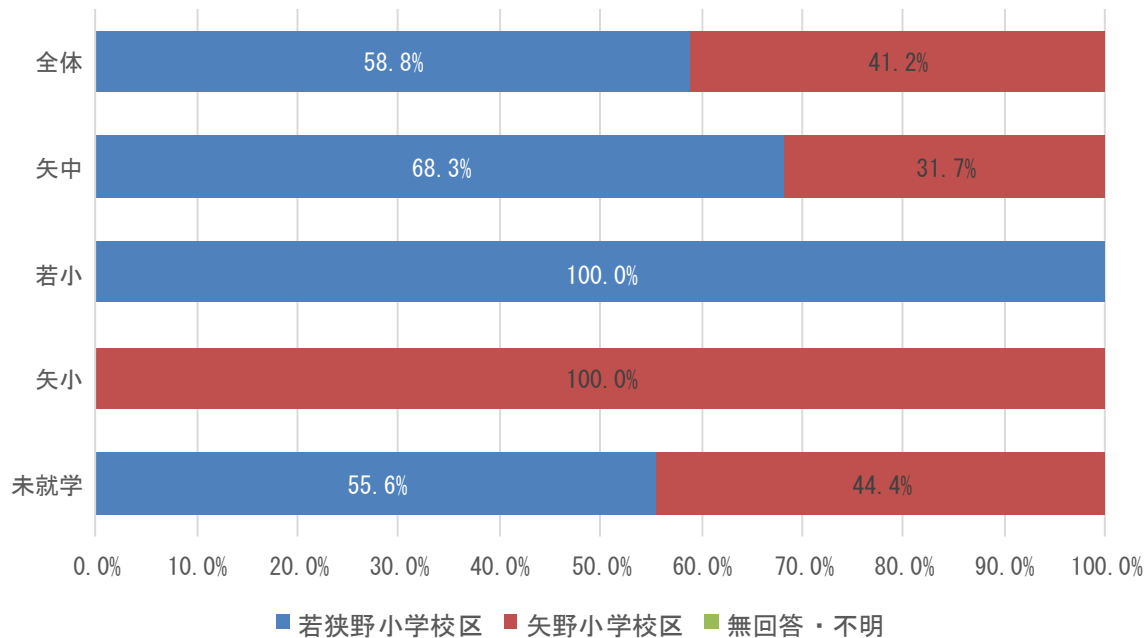
※就学前児童から矢野川中学校生徒までの最長子に配付（世帯に1通）

Ⅱ 調査結果

問1 あなた自身のことについて

問1-1 お住まいの地区はどの小学校区ですか。

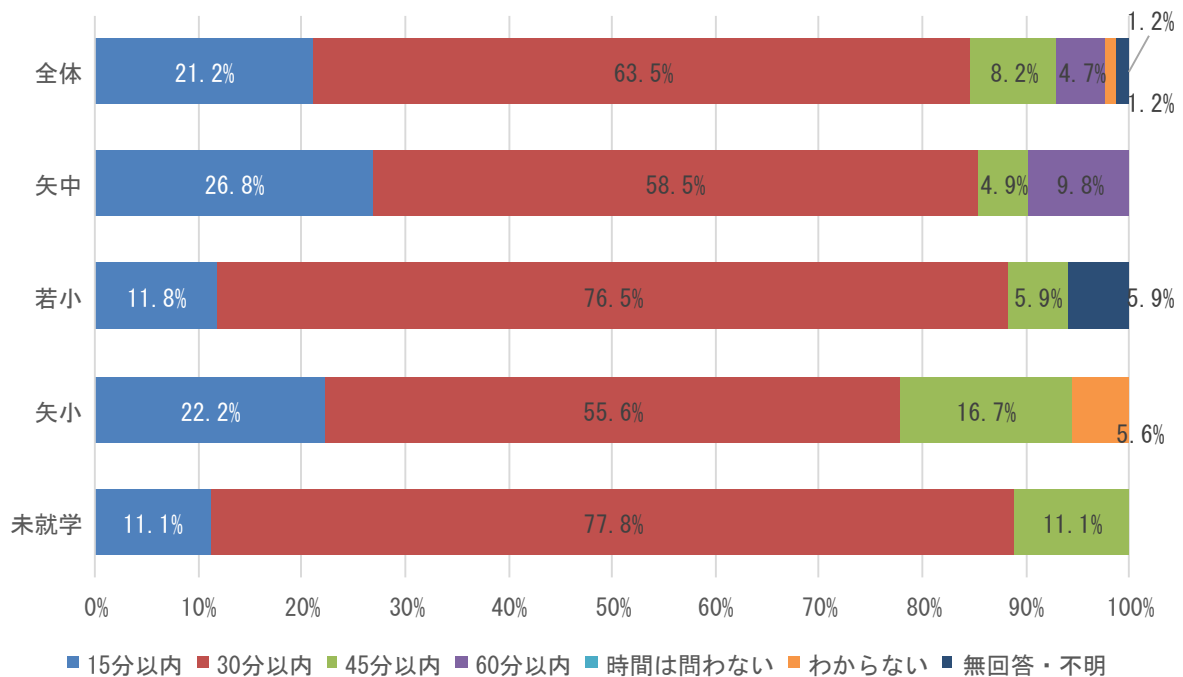
全体（N=85）



問2 中学生にとって望ましい通学時間と通学方法について

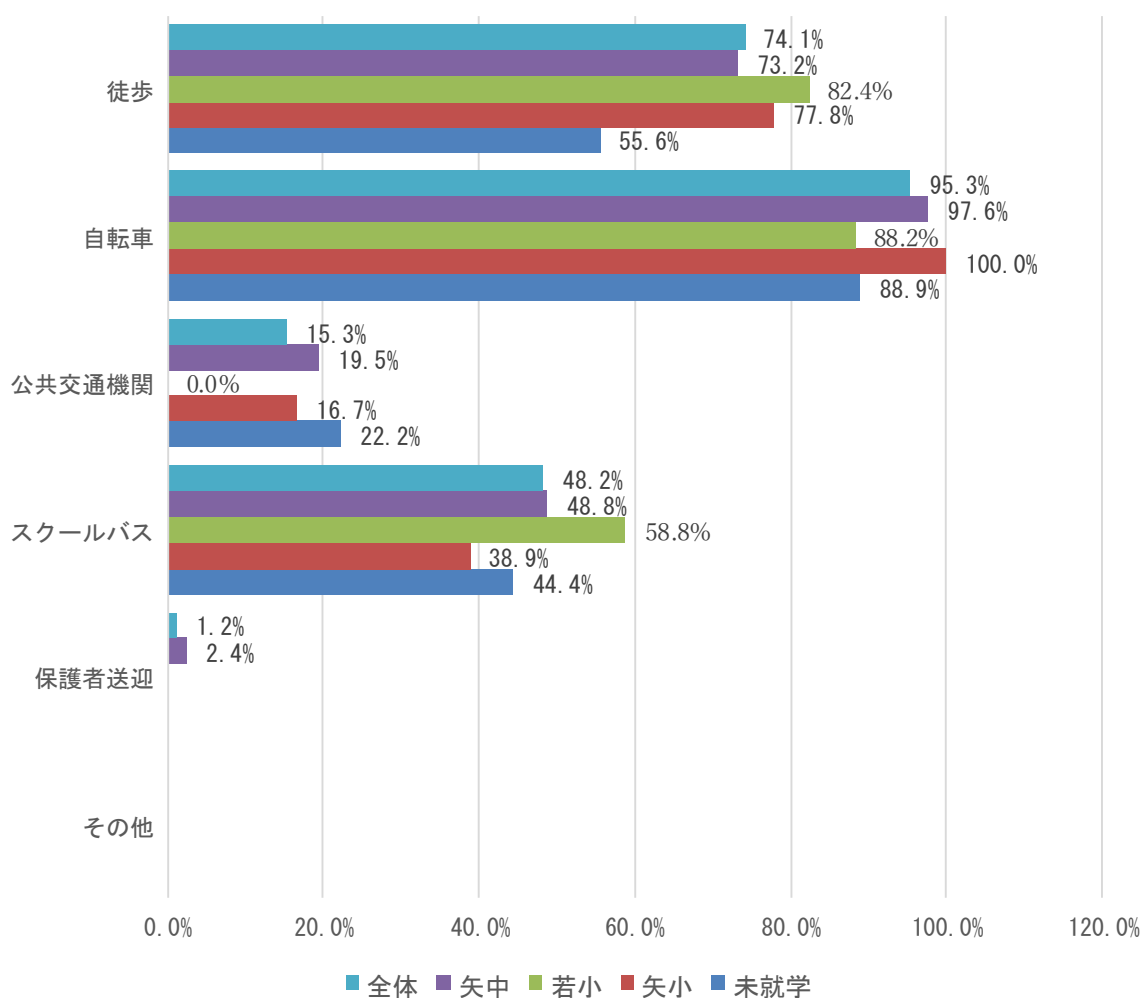
問2-1 中学生の片道の通学時間はどのくらいが許容範囲だと思いますか。（1つに○）

全体（N=85）



○「30分以内」が63.5%と最も高く、次いで「15分以内」が21.2%となっており、両方で8割以上を占めている。

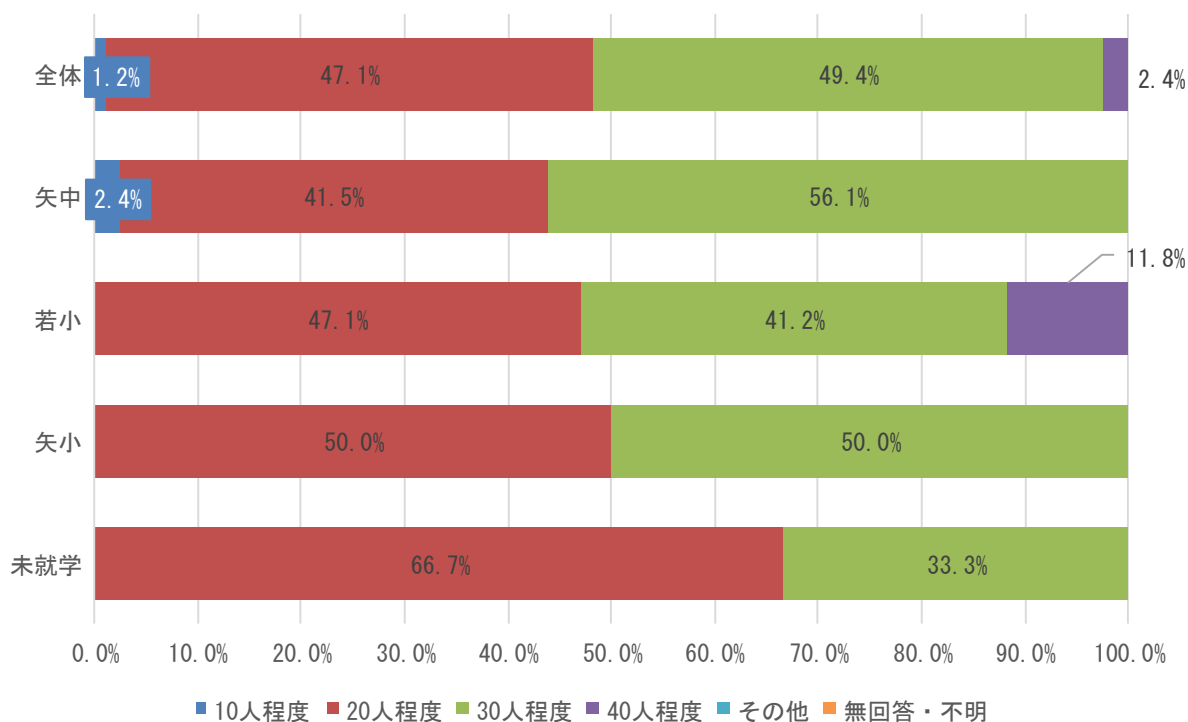
問2-2 中学生の通学方法として、どのような方法が望ましいと思いますか。(複数回答可)
全体 (N=85)



○「自転車」が95.3%と最も高く、次いで「徒歩」が74.1%、「スクールバス」が48.2%となっています。

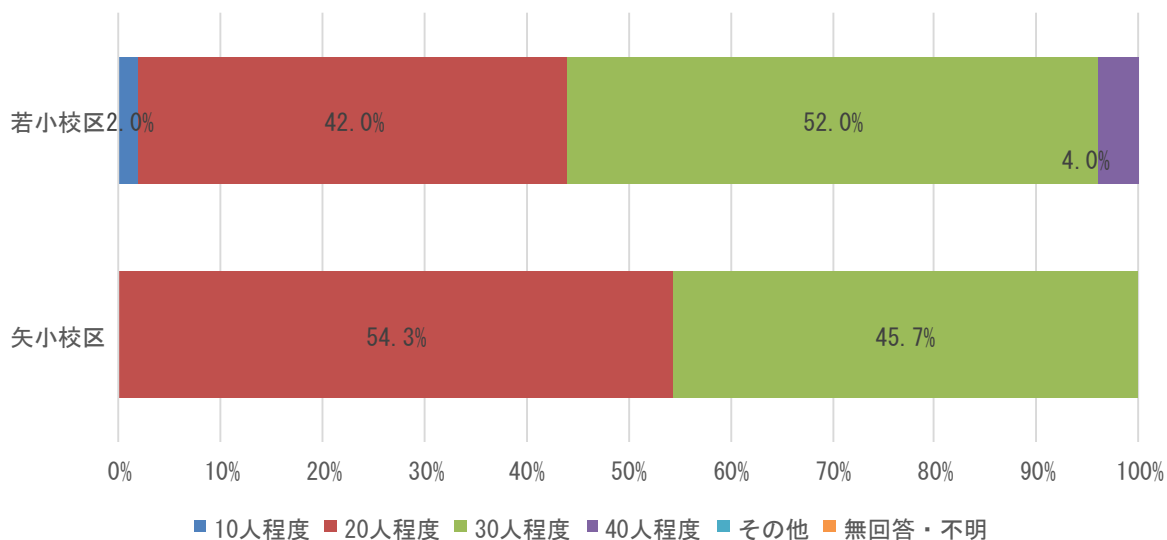
問3 中学校の学校規模について

問3-1 中学校1クラスあたりの生徒数は、何人くらいが適正だと思いますか。(1つに○)
全体 (N=85)



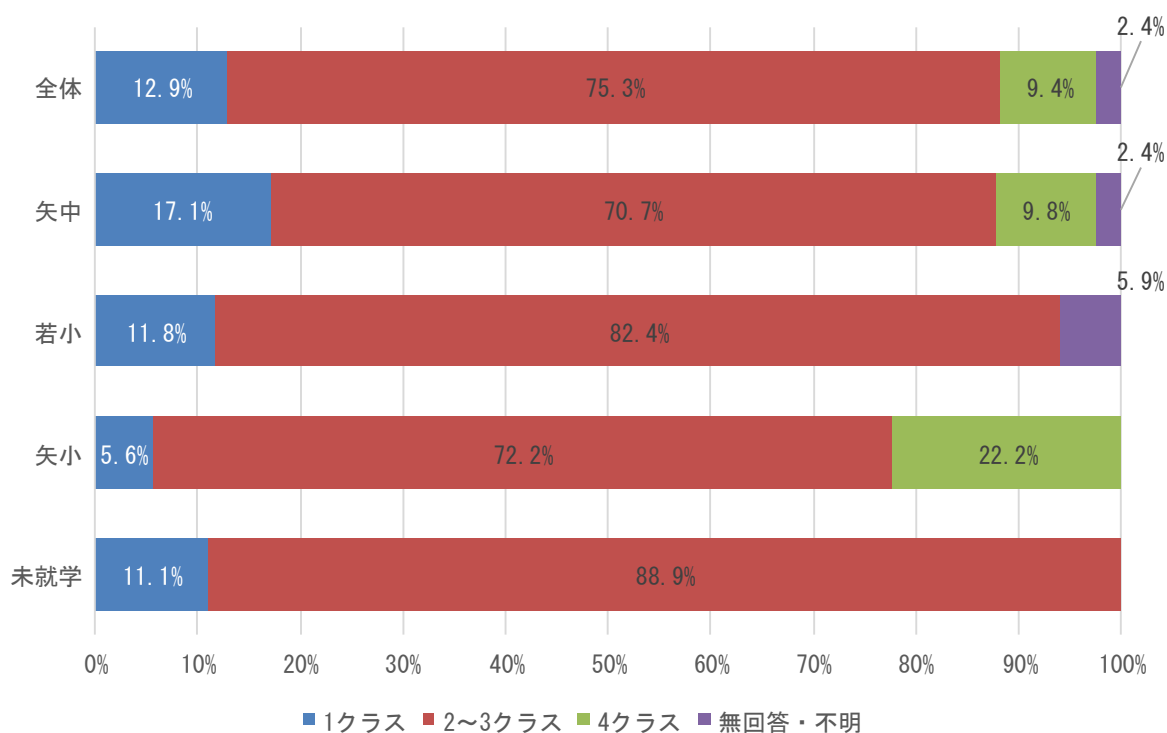
○「30人程度」が49.4%と最も高く、次いで「20人程度」が47.1%となっています。

問3-1 × 小学校区別



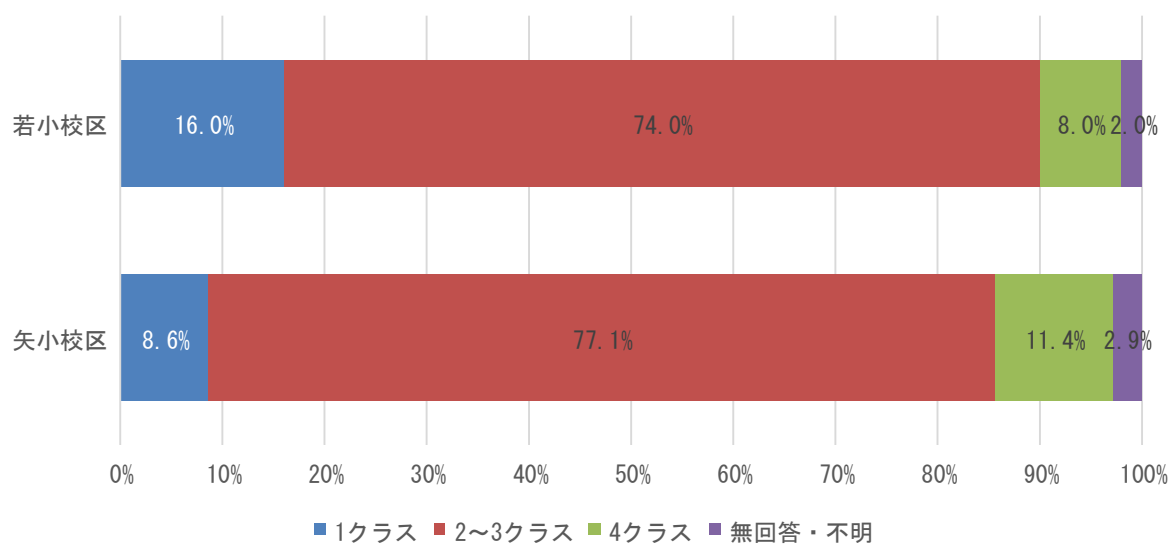
○小学校区別にみると、若狭野小校区では、30人程度が5割以上を占め、矢野小校区では、20人程度が5割以上を占めています。

問3-2 中学校1学年あたりのクラス数は、どの程度が望ましいと思いますか。(1つに○)
全体 (N=85)



○「2~3 クラス」が75.3%と最も高く、次いで「1 クラス」が12.9%となっています。

問3-2 × 小学校区別



○ 小学校区別にみると、若狭野小学校区では「1 クラス」の割合が10%以上となっているが、矢野小学校区では10%未満となっている。

問3-3 問3-1の回答をされた理由として、あなたの考えに近いものをお選びください。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
全体 N=85	33	48	55	41	14	47	14	6	6	13	2
	38.8%	<u>56.5%</u>	<u>64.7%</u>	48.2%	16.5%	<u>55.3%</u>	16.5%	7.1%	7.1%	15.3%	2.4%
10人程度 N=1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	<u>100%</u>	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20人程度 N=40	28	18	19	14	13	14	8	3	4	8	1
	<u>70.0%</u>	<u>45.0%</u>	<u>47.5%</u>	35.0%	32.5%	35.0%	20.0%	7.5%	10.0%	20.0%	2.5%
30人程度 N=42	4	28	35	26	1	32	6	3	2	4	1
	9.5%	<u>66.7%</u>	<u>83.3%</u>	61.9%	2.4%	<u>76.2%</u>	14.3%	7.1%	4.8%	9.5%	2.4%
40人程度 N=2	0	2	1	1	0	1	0	0	0	1	0
	0.0%	<u>100%</u>	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
その他・無回答 N=0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※上位3つに下線

【上記表中①～⑪】

- ①. 一人一人に目が行き届き、丁寧な指導が期待できる
- ②. クラス替えがあり、たくさんの友達ができる
- ③. 社会性や協調性を養う機会に恵まれる
- ④. 学校全体に活気があり、学校行事が盛大にできる
- ⑤. ゆとりのある教育が受けられる
- ⑥. 部活動等の選択の幅が広がる
- ⑦. 学校行事での活躍の場が増える
- ⑧. 専門教科の先生の人数が多い
- ⑨. 同じ生徒とずっと同じクラスで過ごせ、互いに親密になれる
- ⑩. 学年を越えた友達ができやすい
- ⑪. その他

○ 10人・20人程度を回答した理由では、「一人一人に目が行き届き、丁寧な指導が期待できる」「社会性や協調性を養う機会に恵まれる」が高くなっています。

30人程度を回答した理由では、「クラス替えがあり、たくさんの友達ができる」「社会性や協調性を養う機会に恵まれる」「部活動等の選択の幅が広がる」が高くなっています。

40人程度を回答した理由では、「クラス替えがあり、たくさんの友達ができる」が高くなっています。

問3-3 問3-2の回答をされた理由として、あなたの考えに近いものをお選びください。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
全体 N=85	33	48	55	41	14	47	14	6	6	13	2
	38.8%	<u>56.5%</u>	<u>64.7%</u>	48.2%	16.5%	<u>55.3%</u>	16.5%	7.1%	7.1%	15.3%	2.4%
1クラス N=11	11	0	0	1	5	0	3	0	5	5	0
	<u>100%</u>	0%	0%	9.1%	<u>45.5%</u>	0%	27.3%	0%	<u>45.5%</u>	<u>45.5%</u>	0%
2～3クラス N=64	20	42	46	32	7	39	8	4	1	6	2
	31.3%	<u>65.6%</u>	<u>71.9%</u>	50.0%	10.9%	<u>60.9%</u>	12.5%	6.3%	1.6%	9.4%	3.1%
4クラス以上 N=8	0	6	8	8	0	8	2	2	0	1	0
	0%	75.0%	<u>100%</u>	<u>100%</u>	0%	<u>100%</u>	25.0%	25.0%	0%	12.5%	0%
無回答 N=2	2	0	1	0	2	0	1	0	0	1	0
	100%	0%	50.0%	0%	100%	0%	50.0%	0%	0%	50.0%	0%

※上位3つに下線

【上記表中①～⑪】

- ①. 一人一人に目が行き届き、丁寧な指導が期待できる
- ②. クラス替えがあり、たくさんの友達ができる
- ③. 社会性や協調性を養う機会に恵まれる
- ④. 学校全体に活気があり、学校行事が盛大にできる
- ⑤. ゆとりのある教育が受けられる
- ⑥. 部活動等の選択の幅が広がる
- ⑦. 学校行事での活躍の場が増える
- ⑧. 専門教科の先生の人数が多い
- ⑨. 同じ生徒とずっと同じクラスで過ごせ、互いに親密になれる
- ⑩. 学年を越えた友達ができやすい
- ⑪. その他

○ 1クラスを回答した理由では、「ゆとりのある教育が受けられる」「同じ生徒とずっと同じクラスで過ごせ、互いに親密になれる」「学年を越えた友達ができやすい」が高くなっています。

2～3クラスを回答した理由では、「社会性や協調性を養う機会に恵まれる」「部活動等の選択の幅が広がる」「学校全体に活気があり、学校行事が盛大にできる」が高くなっています。

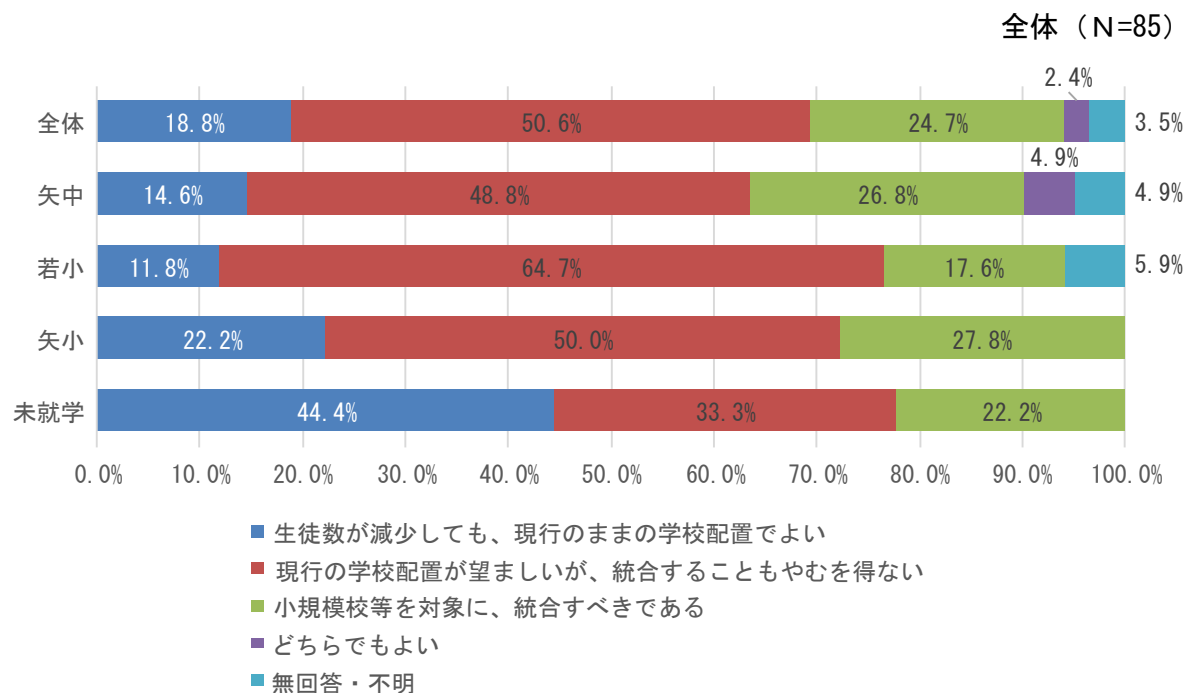
4クラス以上を回答した理由では、「社会性や協調性を養う機会に恵まれる」「学校全体に活気があり、学校行事が盛大にできる」「部活動等の選択の幅が広がる」が高くなっています。

問4 中学校の再編について

問4-1 中学校の適正配置を考えるうえで、重要視する項目は何ですか。あなたの考えに近いものを5つまでお選びください。

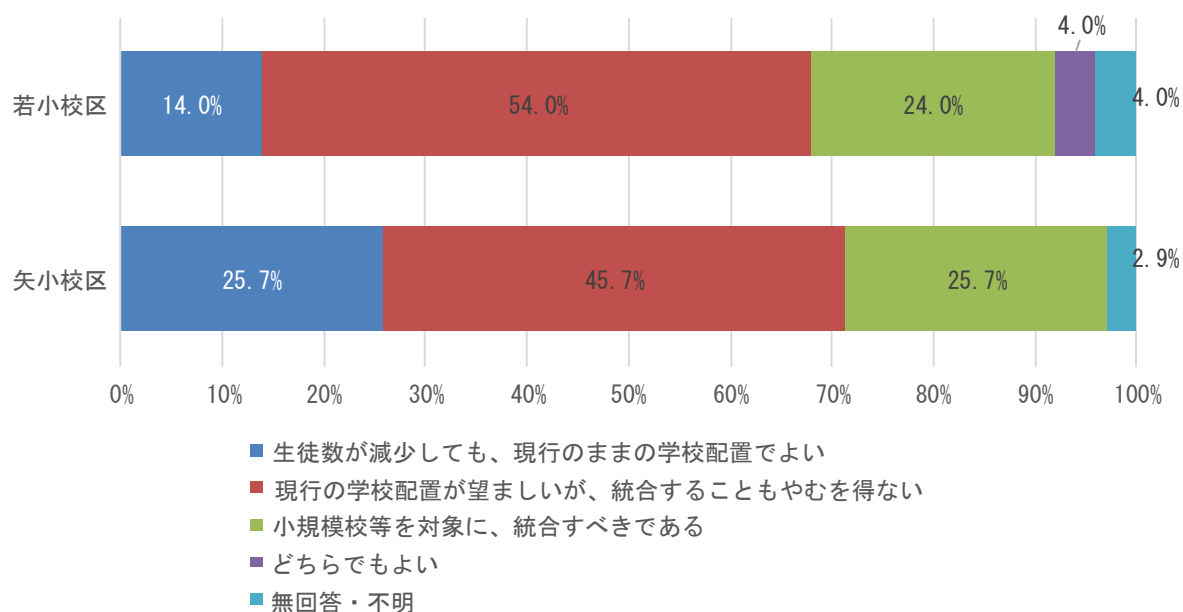
	全体	矢中	若小	矢小	未就学
中学校は地域の拠点となる施設であり、中学校がまちづくりに果たしてきた役割	14.1%	9.8%	11.8%	16.7%	33.3%
地域と近く、地域の人材や自然・歴史を生かした教育活動	28.2%	26.8%	29.4%	16.7%	①55.6%
学校を支援する地域の力	9.4%	4.9%	11.8%	16.7%	11.1%
地域から学校がなくなることの寂しさ	15.3%	9.8%	④35.3%	5.6%	22.2%
地域に子どもの姿が見えなくなることの寂しさ	9.4%	7.3%	17.6%	0.0%	22.2%
今の教育環境の継続性	25.9%	29.3%	29.4%	16.7%	22.2%
良好な教育環境の整備を図るための学校規模	④40.0%	⑤34.1%	③47.1%	①50.0%	33.3%
多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れる機会	②49.4%	③46.3%	①52.9%	①50.0%	①55.6%
子どもたちが持つべき地域への愛着	21.2%	22.0%	17.6%	11.1%	④44.4%
小規模ならではの長所を生かした教育	24.7%	24.4%	29.4%	22.2%	22.2%
運動会や音楽会等の集団教育活動の活気	⑤36.5%	④43.9%	17.6%	⑤33.3%	④44.4%
部活動等の選択の幅	①55.3%	①58.5%	①52.9%	①50.0%	①55.6%
PTA役員等になる頻度	14.1%	19.5%	0.0%	22.2%	0.0%
個人に係る費用負担(アルバム代やイベント費用など)	5.9%	7.3%	5.9%	5.6%	0.0%
進学・就学等の際に人数のギャップによる不安感の軽減	③47.1%	②48.8%	③47.1%	①50.0%	33.3%
その他	3.5%	4.9%	5.9%	0.0%	0.0%
無回答・不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問4-2 少子化の影響を受けて、市内の生徒数が減少することが想定されますが、問4-1の回答を踏まえ、中学校に対する適正配置（学校統合など）における今後の対応について、あなたの考えに最も近いものを1つお選びください。



○「現行の学校配置が望ましいが、統合することもやむを得ない」が50.6%と最も高く、「現行のままの学校配置が良い」が18.8%、「統合すべき」が24.7%となっています。

問4-2 × 小学校区別



○ 矢小校区では「現行のままの学校配置が良い」と「小規模校等を対象に統合すべきである」が同じ25.7%となっています。